



平成 28 年 6 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社フォーシーズホールディングス
代表者名 代表取締役社長 洲崎 智広
(コード番号 3726 東証二部)
問合せ先 経営企画室長 山戸 明仁
(TEL. 092-720-5460)

貸倒引当金繰入額の計上及び業績予想と実績との差異
並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 6 月 6 日付「外部調査委員会の調査報告書受領に関するお知らせ」で公表しておりましたとおり、貸倒引当金繰入額を計上するとともに、平成 27 年 11 月 11 日に公表しました平成 28 年 9 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想と本日公表の実績に差異が生じたのでお知らせします。

また、最近の業績等を踏まえ、通期業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 貸倒引当金繰入額の計上

当社の連結子会社であるクレイトン・ダイナミクス株式会社の一部の売掛金について回収に遅延が生じており、当該売掛金の回収可能性を総合的に勘案した結果、平成 28 年 9 月期第 2 四半期連結累計期間において、貸倒引当金繰入額 84,469 千円を販売費及び一般管理費に計上することといたしました。

2. 平成 28 年 9 月期 第 2 四半期連結累計期間（平成 27 年 10 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前 回 発 表 予 想 (A)	2,000	17	7	1	0.15
今 回 発 表 実 績 (B)	2,483	132	122	40	5.88
増 減 額 (B - A)	483	115	115	39	—
増 減 率 (%)	24.2	676.5	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 27 年 9 月期第 2 四半期)	869	△21	△22	△25	△3.87

3. 差異の理由

前連結会計年度に当社の連結子会社となったクレイトン・ダイナミクス株式会社において、取扱商品の増加や取引先が増加していること及び同じく前連結会計年度に当社の連結子会社となった株式会社Cureにおいて、同社の商品を販売する小売店の増加などの理由により、売上高が当初の予想を上回る結果となりました。なお、その他の連結子会社の売上高におきましては、概ね前回発表予想どおりの結果となりました。

費用面におきましては、各子会社においてインターネットを中心とした積極的な宣伝広告を予定しておりましたが、当第2四半期連結累計期間におきましてはテストマーケティングを実施している段階であり、前回発表予想で見込んでいた費用が発生しておりません。

以上のことから利益面におきましては、上記の貸倒引当金繰入額を計上したあとでも、前回発表の業績予想を上回る結果となりました。

4. 平成28年9月期 通期連結（平成27年10月1日～平成28年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想（A）	4,100	125	100	90	13.10
今回発表予想（B）	4,280	215	200	100	14.56
増減額（B－A）	180	90	100	10	—
増減率（％）	4.4	72.0	100.0	11.1	—
（ご参考）前期実績 （平成27年9月期通期）	2,373	87	77	31	4.79

5. 修正の理由

売上高につきましては、主にクレイトン・ダイナミクス株式会社において与信管理を徹底していく方針であり、従来の積極的な販売拡大戦略を見直すことといたしました。

費用面におきましては、上期実績を踏まえて当初計画から減少する見込みです。

利益面におきましては、前回発表の業績予想を上回る見込みであります。

※ 上記の予想は、発表日現在のデータに基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以 上